取扱説明書

液晶カラーモニター

形名 LL-T15G3

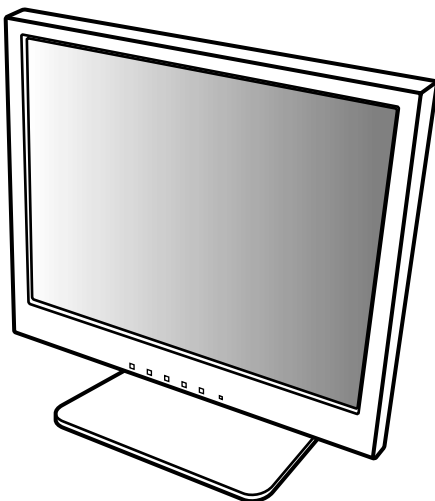
もくじ

ページ

はじめに
- **安全にお使いいただくために** ………… **3**
- **付属品の確認** ………… **5**
- **各部の名前とはたらき** ………… **6**

接続 電源入・切
- **接続・電源入／切** ………… **8**
  - コンピュータの接続 ………… 8
  - 電源の接続 ………… 8
  - 電源の入れ方 ………… 8
  - 電源の切り方 ………… 9
  - ご参考：セットアップ情報とICCプロファイルについて(Windows) ………… 9
  - ご参考：ColorSyncプロファイルについて(MacOS) ………… 12

画面調整
- **画面調整** ………… **13**
  - 画面調整について ………… 13
  - バックライトの明るさ調整 ………… 13
  - カラーモードの設定 ………… 13
  - 画面の自動調整 ………… 14
  - 画面の手動調整 ………… 15

補足
- **お手入れ・保管・アフターサービスについて** ………… **18**
  - お手入れのしかた ………… 18
  - 保管にあたって ………… 18
  - 故障かな？と思ったら ………… 19
  - アフターサービスについて ………… 19
- **お客様ご相談窓口のご案内** ………… **20**
- **仕様** ………… **21**
- **ご参考：VESA規格準拠アームの取り付け方** ………… **23**

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

※ TFT カラー液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また、見る角度によっては、色のムラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも液晶モニターの動作に影響を与える故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
※長時間静止画を表示しないでください。残像の原因になることがあります。
※輝度調整を最小にすると、見えにくいことがあります。
※コンピュータ信号の質が表示品位に影響を与えることがあります。高品位の映像信号を出力できるコンピュータの使用をおすすめします。
※本機は日本国内用です。海外では使えません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオやテレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときは、次の点にご注意ください。
※この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。
※この製品とラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。
なお、くわしくは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にご相談ください。

本書の表記について
※本書では、Microsoft Windows XP Home Edition と Microsoft Windows XP Professional を「WindowsXP」、Microsoft Windows 2000 を「Windows2000」、Microsoft Windows Millennium Edition を「WindowsMe」、Microsoft Windows 98 を「Windows98」、Microsoft Windows 95 を「Windows95」、Microsoft Windows Version3.1 を「Windows3.1」と表記します。また、これらを区別する必要のない場合は、総称して「Windows」と表記しています。
※ Microsoft、Windows は、米国マイクロソフト社の米国、およびその他の国における登録商標です。
※ Macintosh は、米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
※そのほか、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

お願い
※この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口までご連絡ください。
※お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
※この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
※付属品の形状が本書に記載の内容と多少異なることがあります。

安全にお使いいただくために

絵表示について　この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな絵表示をしています。その表示を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告 人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。

 注意 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

絵表示の意味　（絵表示の一例です。）

 記号は、**気を付ける**必要があることを表しています。

 記号は、**してはいけない**ことを表しています。

記号は、**しなければならない**ことを表しています。

警 告

電源コードを傷つけたり、重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。また、加工しないでください。電源コードを傷め、火災や感電の原因になります。

雷が鳴り始めたら、落雷による火災や感電を防ぐために、モニターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

発熱したり、煙が出たり、変なにおいがするなどの異常な状態で使用を続けると、火災や感電の原因になります。異常が起きたら、すぐにモニターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買いあげの販売店にご連絡ください。

風通しの悪い場所、ほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気の当たる場所では使用しないでください。火災の原因になります。

水などの液体がかからないようにしてください。また、クリップやピンなどの異物が機械の中に入らないようにしてください。火災や感電の原因になります。

注 意

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。付属以外のものを使用すると、火災の原因になることがあります。

電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用してください。指定以外の電源を使用すると、火災の原因になることがあります。

電源プラグは、コンセントに直接差し込んでください。タコ足配線をすると、過熱により火災の原因になることがあります。

火災や感電を防ぐために、次のことをお守りください。

- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 夜間、旅行などで長時間使用しないときは、モニターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みがゆるく電源プラグがぐらついているときは、使用をやめて、お買いあげの販売店にご相談ください。

ぐらつく台の上や、不安定な場所に置かないでください。また、強い衝撃や振動を与えないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。

⚠ 注 意

直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、高温になる場所で使用しないでください。発熱や発火の原因になることがあります。

硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。破損してけがの原因になることがあります。

あお向け、横倒し、逆さまにして使用しないでください。熱がこもり、発熱や発火の原因になることがあります。

改造や分解はしないでください。また、お客様による修理はしないでください。火災や感電、けがの原因になることがあります。

健康のために、次のことをお守りください。

●連続して使用する場合は、1時間ごとに１０分から１５分の休憩を取り、目を休ませてください。

●明暗の差が大きい所では使用しないでください。

●日光が画面に直接当たる所では使用しないでください。

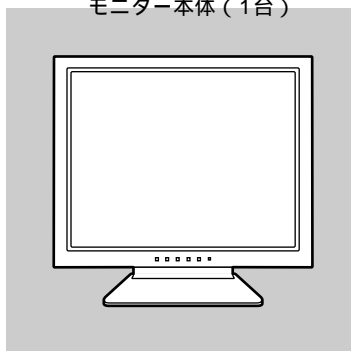
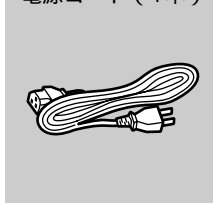
移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外してください。コードやケーブルが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。

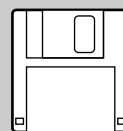
年に一度を目安にモニター内部を清掃してください。(もよりのご相談窓口にご相談ください。)

内部にほこりがたまると、発熱や発火の原因になることがあります。

付属品の確認

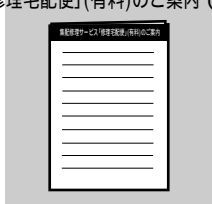
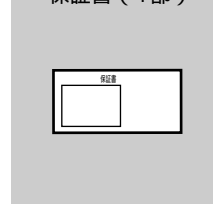
箱の中に次のものが入っているか確かめてください。
万一、不足のものがありましたら、お買いあげの販売店にご連絡ください。

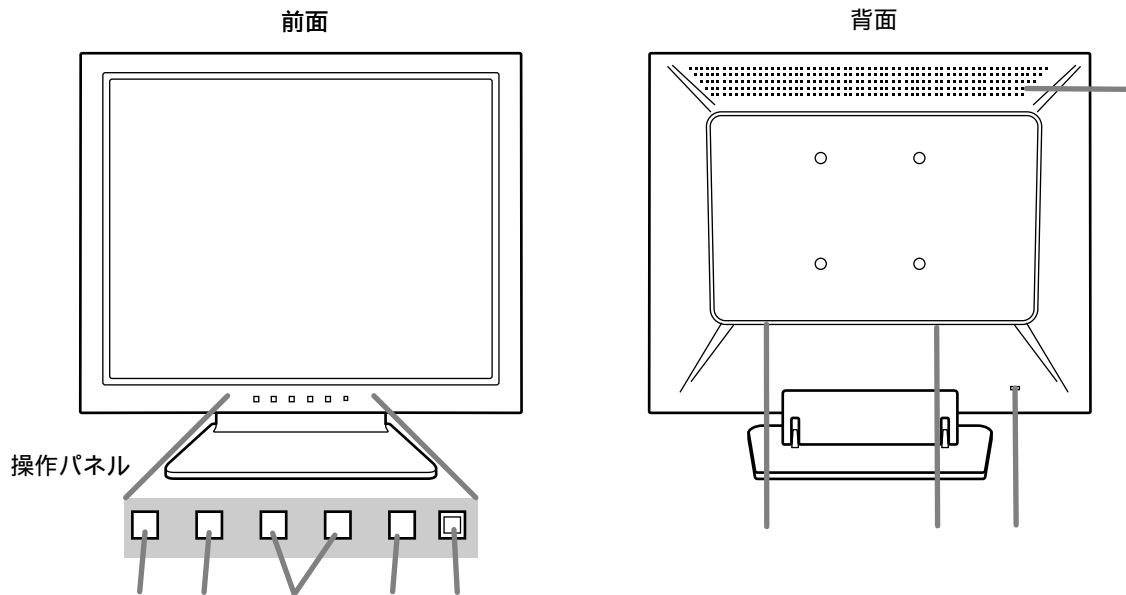
モニター本体（1台）

電源コード（1本）

アナログ信号ケーブル（1本）

ユーティリティーディスク（1枚）

Windows/Macintosh用

取扱説明書（1部）

（本書）

集配修理サービス
「修理宅配便」(有料)のご案内（1部）

保証書（1部）

※梱包箱は、輸送などに備えて保管しておいてください。
※ユーティリティーディスク内のプログラムの著作権は、シャープ(株)が保有しています。許可なく複製しないでください。

各部の名前とはたらき

① MENU ボタン ……………… 調整メニューの表示、切り替え、消去を行います。

② ▼ ／ MODE ボタン …… 調整メニューが表示されているときは、調整項目の選択に使います。
調整メニューが表示されていないときは、カラーモードを設定します。

③ ◀ ▶ ボタン ……………… 調整メニューが表示されているときは、調整項目の選択や調整値の増減に使います。
調整メニューが表示されていないときは、バックライトの明るさを調整します。

④電源ボタン ………………… ボタンを押して、電源の入 / 切を行います。(電源を入れた後、画面が表示されるまで少し時間がかかることがあります。)

⑤電源ランプ ………………… 通常表示時は緑色に、待機時はオレンジ色に点灯します。

⑥電源端子 …………………… 付属の電源コードを接続します。

⑦アナログ RGB 入力端子 … 付属のアナログ信号ケーブルを使って、コンピュータのアナログ RGB 出力端子と接続します。

⑧盗難防止ホール ………… 市販の盗難防止ロックを接続すると、本体を持ち運べないように固定することができます。

※盗難防止ホールは、マイクロセーバーセキュリティシステムなどのセキュリティワイヤーに対応しています。
製品についてのお問い合わせ先は以下のとおりです。

日本ポラデジタル株式会社
〒 104-0032　東京都中央区八丁堀 1-5-2　はごろもビル
Tel：03-3537-1070　　Fax：03-3537-1071　　URL：http://www.poladigital.co.jp

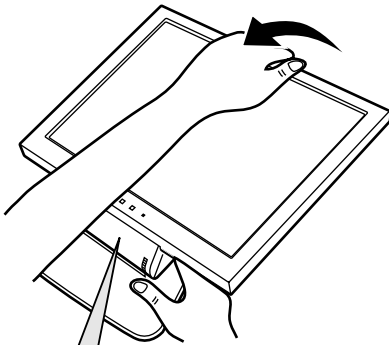
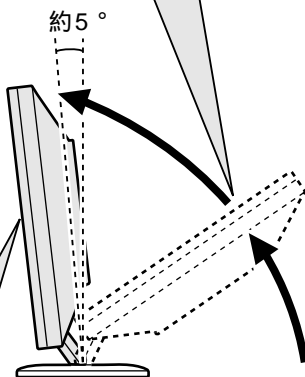
⑨通風孔 ……………………… 機器内部の熱を放出するためのものです。
※通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、故障の原因になります。

■ディスプレイ部の立て方と角度調整

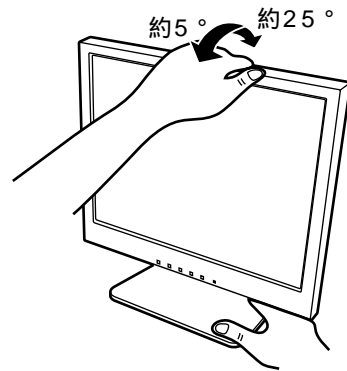
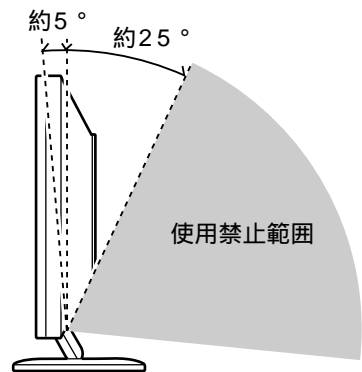
! ご注意

※ディスプレイ部を動かすときは、必ず枠の部分を持ってください。液晶パネルに手を当てて力を加えると、破損の原因になります。

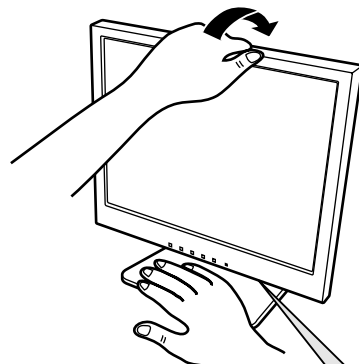
ディスプレイ部の立て方

1. スタンド部分をしっかり押さえながら、ディスプレイ部を静かに起こす。

2. 見やすい角度に調整する。

角度調整について

スタンド部分をしっかり押さえながら、見やすい角度に調整します。

> ⚠ 注意 **後方に倒した状態で使用しないでください。**
> モニターが倒れて、けがや故障の原因になることがあります。

ディスプレイ部の倒し方(収納時)

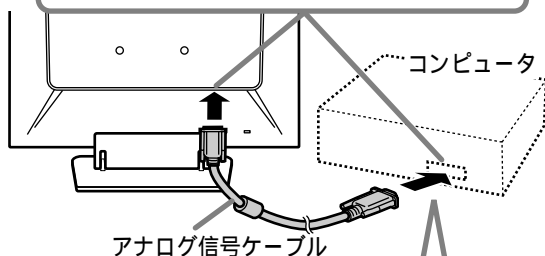
1. アナログ信号ケーブルと電源コードを抜く。

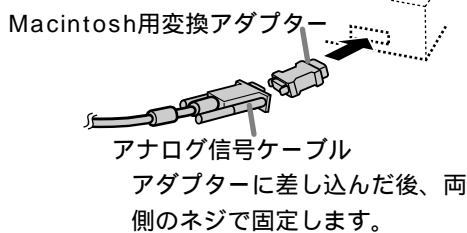
2. スタンド部分をしっかり押さえながら、ディスプレイ部を静かに後方に倒す。

接続・電源入／切

! ご注意

※接続は、モニターおよびコンピュータの電源を切った状態で行ってください。
※ケーブルを無理に曲げたり、ケーブルに力が加わらないようにしてください。断線などの故障の原因になります。

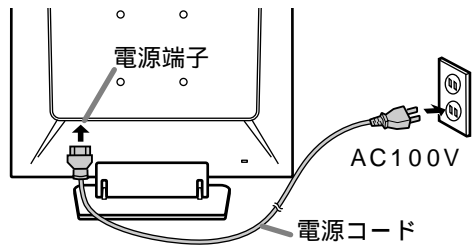
コンピュータの接続

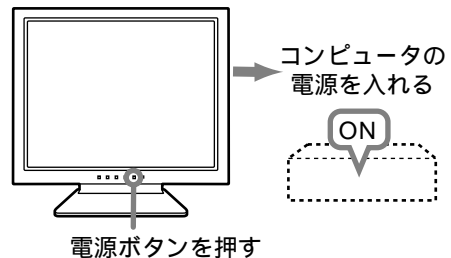
アナログRGB端子(ミニD-sub15ピン 3列)
コネクタの向きを確かめて奥まで差し込んだ後、両側のネジで固定します。

D-sub15ピン 2列のApple Power Macintoshに接続する場合は、アナログ信号ケーブルのコネクタにMacintosh用変換アダプター(市販品)を取り付けます。

アダプターに差し込んだ後、両側のネジで固定します。

? Memo

※ノートパソコンと接続して、ノートパソコン画面と同時表示するように設定されていると、MS-DOS画面が正しく表示できないことがあります。その場合は、本機のみの表示となるように設定してください。

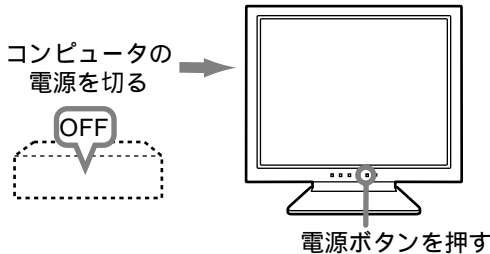
電源の接続

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。

電源の入れ方

1. モニターの電源ボタンを押す。
2. コンピュータの電源を入れる。
電源ランプが緑色に点灯し、画面が表示されます。

? Memo

※本機を初めて使用するときや、使用中のシステムの設定を変更したときは、画面の自動調整(14 ページ)を行ってください。
※お使いのコンピュータやＯＳによっては、接続先のコンピュータ側で本機のセットアップ情報の格納などの操作が必要になる場合があります。

電源の切り方

1. コンピュータの電源を切る。
2. モニターの電源ボタンを押す。
電源ランプが消灯します。

? Memo
※長時間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。

ご参考：セットアップ情報とICCプロファイルについて(Windows)

ご使用のコンピュータやＯＳによっては、コンピュータ側で本機のセットアップ情報の格納などの操作が必要になることがあります。その場合は、以下の手順でセットアップ情報を格納してください。（ご使用のコンピュータや OS によっては、名称・操作方法が異なることがあります。コンピュータの取扱説明書と併せてお読みください。）

ICC プロファイルとは…
ICC(International Color Consortium)プロファイルは、液晶モニターの色再現特性を記述したファイルです。ICC プロファイルに対応したアプリケーションで優れた色の再現性が得られます。
※ ICC プロファイルは、Windows98/2000/Me/XP に対応しています。
※ Windows98/2000/Me/XP でセットアップ情報の格納を行うと、ICC プロファイルも格納されます。ICC プロファイルだけを格納したいときは、11 ページの「ICC プロファイルの格納」をご覧ください。
※ ICC プロファイルを使用する場合は、「カラーモード」と「色温度」をそれぞれ「標準」に設定してください。

■セットアップ情報の格納

Windows95 の場合

Windows95 に本機のセットアップ情報を格納します。フロッピーディスクドライブを「A ドライブ」として説明します。

1. コンピュータの A ドライブに付属のユーティリティーディスクをセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「ディスプレイの詳細」、「詳細プロパティ」、「モニター」、「変更」の順にクリックする。
   デバイスの選択画面が表示されます。
5. 「ディスク使用」をクリックし、「配布ファイルのコピー元」が「A:\」であることを確認して「OK」をクリックする。
6. 表示された一覧から本機を選び、「OK」をクリックする。
7. 本機が表示されていることを確認して、「更新」をクリックする。
8. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
9. A ドライブからユーティリティーディスクを取り出す。

Windows98 の場合

Windows98 に本機のセットアップ情報を格納し、本機の ICC プロファイルを既定値として設定します。
フロッピーディスクドライブを「A ドライブ」として説明します。

【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された場合】

1. コンピュータの A ドライブに付属のユーティリティーディスクをセットする。
2. 「次へ」をクリックする。
3. 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
4. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「配布ファイルのコピー元」が「A:\」であることを確認して「OK」をクリックする。
5. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」、「次へ」、「完了」の順にクリックする。
   新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された場合は、もう一度 2. から操作してください。
6. A ドライブからユーティリティーディスクを取り出す。

【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されなかった場合】

1. コンピュータの A ドライブに付属のユーティリティーディスクをセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし､「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「設定」､「詳細」､「モニタ」の順にクリックする。
5. 「オプション」内の「プラグ アンド プレイ モニタを自動的に検出する」をチェックし､「変更」をクリックする。
6. 「次へ」をクリックする。
7. 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」をチェックし､「次へ」をクリックする。
8. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし､「配布ファイルのコピー元」が「A:\」であることを確認して「OK」をクリックする。
9. 表示された一覧から本機を選び､「次へ」､「次へ」､「完了」の順にクリックする。
10. 本機が表示されていることを確認し､「適用」をクリックする。
11. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
12. A ドライブからユーティリティーディスクを取り出す。

Windows2000 の場合

Windows2000 に本機のセットアップ情報を格納し、本機の ICC プロファイルを既定値として設定します。
フロッピーディスクドライブを「A ドライブ」として説明します。

1. コンピュータの A ドライブに付属のユーティリティーディスクをセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし､「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「設定」､「詳細」､「モニタ」の順にクリックする。
5. 「プロパティ」､「ドライバ」､「ドライバの更新」の順にクリックする。
6. 「デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始」が表示されたら「次へ」をクリックする。
7. 「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」をチェックし､「次へ」をクリックする。
8. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし､「製造元のファイルのコピー元」が「A:\」であることを確認して「OK」をクリックする。
9. 表示された一覧から本機を選び､「次へ」をクリックする。
10. 「次へ」をクリックし、モニタ名に本機が表示されていることを確認し､「完了」をクリックする。
「デジタル署名が見つかりませんでした」と表示された場合は「はい」をクリックしてください。
11. 「閉じる」をクリックして､「画面のプロパティ」を閉じる。
12. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
13. A ドライブからユーティリティーディスクを取り出す。

WindowsMe の場合

WindowsMe に本機のセットアップ情報を格納し、本機の ICC プロファイルを既定値として設定します。
フロッピーディスクドライブを「A ドライブ」として説明します。

【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された場合】

1. コンピュータの A ドライブに付属のユーティリティーディスクをセットする。
2. 「ドライバの場所を指定する」をチェックし､「次へ」をクリックする。
3. 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールするドライバを選択する」をチェックし､「次へ」をクリックする。
4. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし､「製造元ファイルのコピー元」が「A:\」であることを確認して「OK」をクリックする。
5. 表示された一覧から本機を選び､「次へ」､「次へ」､「完了」の順にクリックする。
新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された場合は、もう一度 2. から操作してください。
6. A ドライブからユーティリティーディスクを取り出す。

【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されなかった場合】

1. コンピュータの A ドライブに付属のユーティリティーディスクをセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし､「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「設定」､「詳細」､「モニタ」の順にクリックする。
5. 「オプション」内の「プラグ アンド プレイ モニタを自動的に検出する」をチェックし､「変更」をクリックする。
6. 「ドライバの場所を指定する」をチェックし､「次へ」をクリックする。
7. 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールするドライバを選択する」をチェックし､「次へ」をクリックする。

8.「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし､「製造元ファイルのコピー元」が「A:\」であることを確認して「OK」をクリックする。
9. 表示された一覧から本機を選び､「次へ」､「次へ」､「完了」の順にクリックする。
10. 本機が表示されていることを確認し､「適用」をクリックする。
11.「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
12. A ドライブからユーティリティーディスクを取り出す。

WindowsXP の場合

WindowsXP に本機のセットアップ情報を格納し、本機の ICC プロファイルを既定値として設定します。
フロッピーディスクドライブを「A ドライブ」として説明します。
1. コンピュータの A ドライブに付属のユーティリティーディスクをセットする。
2.「スタート」ボタンをクリックし､「コントロールパネル」を選ぶ。
3. クラシック表示にする。
4.「画面」をダブルクリックする。
5.「設定」､「詳細設定」､「モニタ」の順にクリックする。
6.「プロパティ」､「ドライバ」､「ドライバの更新」の順にクリックする。
7. ハードウェアの更新ウィザードが表示されたら､「一覧または特定場所からインストールする」をチェックし､「次へ」をクリックする。
8.「検索しないで、インストールするドライバを選択する」をチェックし､「次へ」をクリックする。
9.「ディスク使用」をクリックし､「製造元のファイルのコピー元」を「A:\」にして「OK」をクリックする。
10. 表示された一覧から本機を選び､「次へ」をクリックする。
「Windows ロゴテストに合格していません…」と表示された場合は､「続行」をクリックしてください。
11. 本機が表示されていることを確認し､「完了」をクリックする。
12.「閉じる」をクリックして､「画面のプロパティ」を閉じる。
13.「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
14. A ドライブからユーティリティーディスクを取り出す。

■ICC プロファイルの格納

本機の ICC プロファイルを格納します｡(セットアップ情報の格納を行った場合は、プロファイルの格納も行われていますので、この操作は不要です。)
フロッピーディスクドライブを「A ドライブ」として説明します。
1. コンピュータの A ドライブに付属のユーティリティーディスクをセットする。
2.「スタート」ボタンをクリックし､「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3.「画面」をダブルクリックする。
4.「設定」､「詳細」の順にクリックする。
5.「全般」をクリックし､「互換性」内の「再起動しないで新しい色の設定を適用する」を選び､「色の管理」をクリックする。
6.「追加」をクリックし、ファイルの場所を「3.5 インチ FD(A:)」にする。
7. インストールしたい「カラープロファイル」を選び、「追加」をクリックする。
8. プロファイルを選び､「規定値として設定」をクリックする。
9.「OK」をクリックしてウィンドウを閉じる。
10. A ドライブからユーティリティーディスクを取り出す。

? Memo

※ ICC プロファイルを使用する場合は、「カラーモード」 と「色温度」をそれぞれ「標準」に設定してください。

ご参考：ColorSync プロファイルについて(MacOS)

ColorSync プロファイルとは…

ColorSync は、アップル社のカラーマネージメントシステムで、対応したアプリケーションにおいて色再現性を実現するための機能です。ColorSync プロファイルには、液晶モニターの色再現特性を記述しています。

※本機の ColorSync プロファイルは、MacOS8.5 以降に対応しています。

※ ColorSync プロファイルを使用する場合は、「カラーモード」と「色温度」をそれぞれ「標準」に設定してください。

■ ColorSync プロファイルの設定

※フロッピーディスクドライブが必要です。また、システムに「PC Exchange」または「File Exchange」がインストールされている必要があります。

※ご使用のコンピュータや OS によっては、名称・操作方法が異なることがあります。コンピュータの取扱説明書と併せてお読みください。

1. コンピュータのフロッピーディスクドライブに、付属のユーティリティーディスクをセットする。
2. ユーティリティーディスクの Mac フォルダ内の使用するプロファイルを、システムフォルダ内の ColorSync プロファイルフォルダにコピーする。
3. コントロールパネルの ColorSync で、使用するプロファイルを選ぶ。

画面調整

画面調整について

バックライトの明るさ調整(右記)
　バックライトの明るさを調整します。
カラーモードの設定（右記）
　表示の色合いを設定します。
画面自動調整(14 ページ)
　クロック、フェーズ、水平位置、垂直位置を自動的に調整します。
画面手動調整(15 ページ)
　用意されている調整メニューを利用して、画面の調整をします。

? Memo

※調整内容は、電源を切っても保持されます。

■調整値のオールリセットについて

すべての調整値を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

1. 本機の電源を切る。

2. MENU ボタンと ▼ ／ MODE ボタンの両方を押しながら、電源ボタンを押す(電源を入れる)。
画面に「オールリセット中」と表示されるまで押し続けてください。
メッセージの表示が消えると、リセットは完了です。

? Memo

※「オールリセット中」の表示中は、操作ボタンは効きません。
※調整ロックが設定されている場合、オールリセットはできません。調整ロックを解除してから操作してください。

■画面調整メニューのリセット

画面調整メニュー(クロック、フェーズ、水平位置、垂直位置)の調整値を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

1. 本機の電源を入れる。

2. MENU ボタンと ◀ ボタンの両方を押す。
画面に「リセット中」と表示されて、リセットが完了します。

■調整ロック機能について

電源ボタン以外の操作ボタンを効かなくして(ロック設定)、調整後の内容の変更を防ぐことができます。

1. 本機の電源を切る。

2. MENU ボタンを押しながら、電源ボタンを押す(電源を入れる)。
画面に「調整ロック設定中」と表示されて、ロック設定されます。

調整ロックの解除

1. 本機の電源を切る。

2. MENU ボタンを押しながら、電源ボタンを押す(電源を入れる)。
画面に「調整ロックを解除します」と表示されて、ロックが解除されます。

バックライトの明るさ調整

1. 調整メニューが表示されていない状態で、◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押す。

明るさ　31

2. ◀ ボタン(暗くする)、▶ ボタン(明るくする)を押して調整する。
調整用の表示は、最後のボタン操作から数秒後に自動的に消えます。

カラーモードの設定

表示の色合いを設定することができます。

標準 ………	液晶モニター本来の色合いを生かした表示になります。
sRGB ……	IEC(International Electrotechnical Commission)が規定した色再現性の国際規格です。液晶の特性を考慮した色変換が行われ、原画像に基づいた色合いでの表示になります。
あざやか …	原色をダイナミックに表示します。

※「sRGB」または「あざやか」に設定すると、調整メニューの「色温度」は「標準」になります。

設定方法

調整メニューが表示されていない状態で、▼ / MODE ボタンを押します。ボタンを押すごとに、標準 → sRGB → あざやか → 標準 … と切り替わります。
設定用の表示は、最後のボタン操作から数秒後に自動的に消えます。

画面の自動調整

画面調整メニューのクロック、フェーズ、水平位置、垂直位置を自動的に調整します。

? Memo

※本機を初めて使用するときや、使用中のシステムの設定を変更したときは、ご使用の前に自動調整を行ってください。

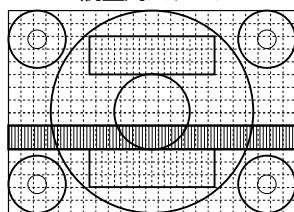
■自動調整のための画面表示について

自動調整を行うために、あらかじめ画面全体が明るくなるような画像を表示してください。
Windows をご使用の場合は、本機に付属のユーティリティーディスクの調整用パターンをご利用ください。

【調整用パターン(Windows 専用)の呼び出し方】

Windows95/98/2000/Me/XP を基準に、フロッピーディスクドライブを「A ドライブ」として説明します。
※ご使用のコンピュータのフロッピーディスクドライブが A ドライブと異なる場合は、「A ドライブ」や「A:」をお使いのドライブに置き換えてお読みください。

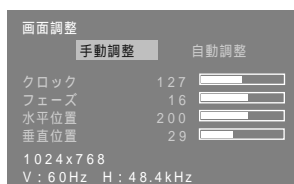
1. **付属のユーティリティーディスクをコンピュータの A ドライブにセットする。**
2. **「マイコンピュータ」の「3.5 インチ FD(A:)」を開く。**
   Windows3.1 の場合は、「ファイルマネージャ」を開き、「A ドライブ」を選択します。
3. **「Adj_uty.exe」をダブルクリックして、調整用プログラムを起動する。**
   調整用パターンが表示されます。

＜調整用パターン＞

調整終了後は、コンピュータの[ESC]キーを押して、調整用プログラムを終了してください。

? Memo

※使用するコンピュータの表示モードが 6 万 5 千色の場合、カラーパターンの各色の階調が異なって見えたり、グレースケールが色付きに見えることがあります。（入力信号の仕様によるもので、故障ではありません。）

■自動調整のしかた

1. **MENU ボタンを押す。**
   画面調整メニューが表示されます。

2. **▶ ボタンを押して、「自動調整」を選択する。**
   画面が黒くなり、「自動調整中」と表示され、数秒後に画面調整メニューに戻ります。
   （これで自動調整は完了です。）
3. **MENU ボタンを 4 回押して、調整メニューを消す。**

? Memo

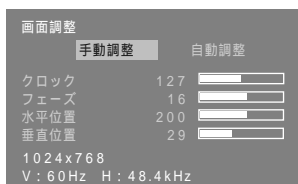
※通常は、自動調整だけでご使用いただけます。
※ 1 回の自動調整では、正しく調整ができないことがあります。その場合は、自動調整を 2 ～ 3 回繰り返してみてください。
※自動調整後、次のような場合は必要に応じて手動調整を行ってください。(15 ページ)
- さらに微調整が必要なとき
- 「自動調整できませんでした」と表示されたとき (画面全体が極端に暗い場合など、表示中の内容によっては自動調整ができないことがあります。再度、自動調整をする場合は、調整用パターンを利用するか、画面全体が明るくなるような画像に変えてみてください。)
- コンピュータからの信号がコンポジット・シンクやシンク・オン・グリーンのときなど(自動調整では正しく調整できないことがあります。)

※動画や MS-DOS プロンプトなど、画面によっては自動調整が正しく行われないことがあります。

画面の手動調整

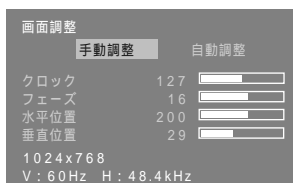
用意されている調整メニューを利用して、画面の調整をします。

1. 画面全体が明るくなるような画像を表示させる。
Windows パソコンの場合、本機に付属のユーティリティーディスクの調整用パターンを呼び出して、ご利用ください。(14 ページ)

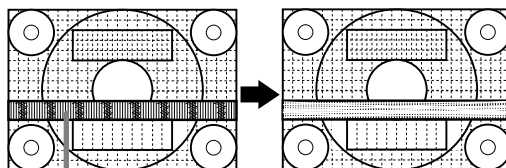
2. MENU ボタンを押す。
画面調整メニューが表示されます。

以降、必要な項目を調整します。
MENU ボタンを押すごとに、次のメニューに切り替わります。(画面調整→映像調整→色温度→モード選択→メニュー表示消)

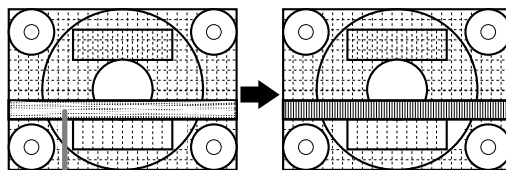
? Memo

※調整メニューは、最後のボタン操作から約 30 秒後に自動的に消えます。
※本書では、調整用パターン(Windows 用)を利用した調整のしかたを基本に説明します。

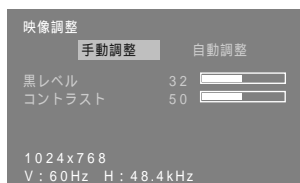
画面調整メニュー

手動調整 ..... 必要な項目を手動で調整します。
自動調整 ..... 各項目を自動的に調整します。
※▶ ボタンを押すと､｢自動調整｣の選択になります。
※項目の選択　：▼／MODE ボタン
※次のメニューへ：MENU ボタン

クロック

下図の部分に縦じま状のノイズが出ないように調整します。(◀ ▶ ボタン)

フェーズ

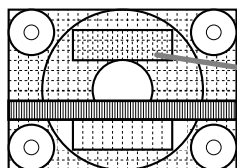
下図の部分に横じま状のノイズが出ないように調整します。(◀ ▶ ボタン)
※｢フェーズ｣の調整は、必ず｢クロック｣を正しく調整した後で行ってください。

水平位置、垂直位置

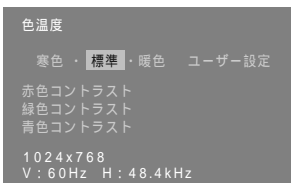
調整パターンの全体が画面内に表示されるように、左右(水平位置)、上下(垂直位置)の位置を調整します。
(◀ ▶ ボタン)

映像調整メニュー

手動調整 ..... 必要な項目を手動で調整します。
自動調整 ..... オートゲインコントロール機能 * で自動調整します。自動調整後、必要に応じて手動調整してください。

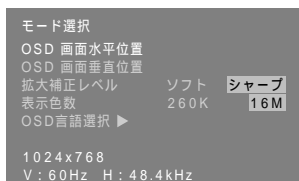
※▶ ボタンを押すと､｢自動調整｣の選択になります。
※項目の選択　：▼／MODE ボタン
※次のメニューへ：MENU ボタン

*** オートゲインコントロール機能**
※画面に表示中の最も明るい色と最も暗い色を基準に、黒レベル、コントラストが調整されます。調整パターンを利用しないときは、5mm × 5mm 以上の白色と黒色が表示されている必要があり、表示がない場合は正しく調整できないことがあります。
※コンピュータからの信号がコンポジット・シンクやシンク・オン・グリーンのときは、自動調整ができないことがあります。その場合は手動で調整してください。
※｢自動調整できませんでした｣と表示されたときは、手動調整を行ってください。
※オートゲインコントロール機能を実行する場合は、｢色温度｣を｢ユーザー設定｣以外に設定してください｡｢ユーザー設定｣の場合、オートゲインコントロールはできません。

黒レベル
カラーパターンを見ながら、画面全体の明るさを調整します｡(◀ ▶ ボタン)

コントラスト
カラーパターンを見ながら、すべての階調が表示されるように調整します｡(◀ ▶ ボタン)

色温度メニュー

※｢標準｣以外では、すべての階調を表示することはできません。すべての階調を表示したいときは｢標準｣に設定してください。
※カラーモードが「sRGB」または「あざやか」の場合、「標準」以外に設定することはできません。
※ ◀ ▶ ボタンで｢寒色｣｢•｣｢標準｣｢•｣｢暖色｣｢ユーザー設定｣を選びます。
※｢ユーザー設定｣を選ぶと､｢赤色コントラスト｣､｢緑色コントラスト｣､｢青色コントラスト｣の設定値が表示され、微調整ができます。
※ ▼ ／ MODE ボタンで｢赤色コントラスト｣｢緑色コントラスト｣｢青色コントラスト｣を選びます。
※次のメニューへ：MENU ボタン

寒色 .... 標準設定よりも青みがかった色合い
• .... 標準設定よりもやや青みがかった色合い
標準 .... 標準設定
• .... 標準設定よりもやや赤みがかった色合い
暖色 .... 標準設定よりも赤みがかった色合い
ユーザー設定
赤色コントラスト ......◀ ボタンで青緑色、▶ ボタンで赤色
緑色コントラスト ......◀ ボタンで紫色、▶ ボタンで緑色
青色コントラスト ......◀ ボタンで黄色、▶ ボタンで青色

モード選択メニュー

※入力信号の解像度によっては、項目の選択ができても、表示状態が変わらないことがあります。
※項目の選択：▼／MODE ボタン
※調整終了　：MENU ボタン

OSD 画面水平位置

調整メニューの表示位置を左右に動かします。
(◀ ▶ ボタン)

OSD 画面垂直位置

調整メニューの表示位置を上下に動かします。
(◀ ▶ ボタン)

拡大補正レベル

画像を拡大表示したときの補正レベルを選択することができます。(◀ ▶ ボタン)
※ 1024 × 768 ドット未満の表示モードの画面を表示させた場合、画面全体に拡大表示されます。(アスペクト比(縦横比)が変わることがあります。)

表示色数

最大表示色数を設定します。(◀ ▶ ボタン)
　260K ：約 26 万色
　16M　：約 1619 万色

OSD 言語選択

調整メニューの言語を変更することができます。
1）▶ ボタンを押す。
　言語選択メニューが表示されます。
2）▼ ／ MODE ボタンで言語を選択する。
3）MENU ボタンを押す。
　モード選択メニューに戻ります。

お手入れ・保管・アフターサービスについて

お手入れのしかた

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

■キャビネットや操作パネル部分

キャビネットや操作パネル部分の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、柔らかい布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってから汚れをふき取ってください。

■液晶パネル部分

液晶パネルの表面の汚れやホコリは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。（レンズクリーナーやガーゼなどの柔らかい布でもかまいません。）

! ご注意

※シンナー、ベンジン、アルコール、ガラスクリーナーなどは絶対に使用しないでください。変色や変形の原因になります。
※硬いものでこすったり、強い力を加えないでください。傷が付いたり、故障の原因になります。

? Memo

※本機で使用している蛍光管には水銀が含まれています。本機を廃棄するときは、地方自治体の条例・規則に従ってください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせください。

保管にあたって

長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

! ご注意

※ゴム製品やビニール製品などと長時間接触させないでください。変色や変形の原因になります。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。
それでも正常に動かないときは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にご連絡ください。

本機で使用している蛍光管には寿命があります。
※画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、専用の蛍光管ユニットの交換が必要です。お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
(ご自分での交換は絶対にしないでください。)
※ご使用初期において、蛍光管の特性上、画面がチラつくことがあります(故障ではありません)。その場合は、いったん電源を切り、電源を入れ直してご確認ください。

画面に何も表示されない(電源ランプ消灯)
※電源コードは正しく接続されていますか。(8 ページ)

画面に何も表示されない(電源ランプ点灯)
※コンピュータと正しく接続されていますか。(8 ページ)
※コンピュータの電源は入っていますか。
※コンピュータの信号タイミングは本機の仕様に合っていますか。(22 ページ)
※コンピュータの省電力機能が動作していませんか。

操作ボタンが効かない
※調整ロックが設定されていませんか。(13 ページ)

画面が乱れている
※コンピュータの信号タイミングは本機の仕様に合っていますか。(22 ページ)
※画面自動調整を行ってください。(14 ページ)
※お使いのコンピュータで垂直周波数（リフレッシュレート）が変更できる場合は、低い周波数に変えてみてください。（22 ページ)

アフターサービスについて

■製品の保証について

この製品には保証書がついています。保証書は、販売窓口にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
保証期間はお買いあげの日から１年間です(ただし、光源の蛍光管は消耗品ですので、保証の対象になりません)。保証期間中でも修理は有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
保証期間後の修理は、お買いあげの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

■補修用性能部品について

当社は、この液晶モニターの補修用性能部品を製造打切後、7 年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。

■修理を依頼されるときは

先に｢故障かな?と思ったら｣をお読みのうえ、もう一度お調べください。
それでも異常があるときは、使用をやめて、電源コードをコンセントから抜き、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にこの製品を**｢お持ち込み｣**のうえ、修理をお申し付けください。
ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。
アフターサービスについてわからないことは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

お客様ご相談窓口のご案内(次ページ)

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取り扱い・お手入れについてのご相談やご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。
転居や贈答品などで保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記の窓口にご相談ください。

・製品の故障や部品のご購入に関するご相談は…… **修理相談窓口** へ

・製品のお取り扱い方法、その他ご不明な点は…… **お客様相談センター** へ

※電話番号、所在地などは変わることがありますので、その節はご容赦願います。(2002年11月現在)

修理相談窓口

パソコン修理相談センター

＜受付時間＞※月曜日～土曜日：午前9時～午後6時　※日曜日・祝日：午前10時～午後5時 (年末年始を除く)

【パソコン修理相談センター】

0570-01-4649

ナビダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせいたします。
(注)携帯電話・PHSからはナビダイヤルをご利用いただけません。
下記一般電話番号におかけください。

携帯電話／PHSの方は一般電話へ.................... 東日本地区 043-351-1831　西日本地区 06-6792-5613

◎修理ご依頼品を直接お持ちいただく場合は、お買いあげの販売店、または下記修理受付窓口へお持ち込みください。

＜受付時間＞※月曜日～金曜日：午前9時～午後5時30分 (土曜日・日曜日・祝日など弊社休日を除く)

担当地域	拠点名	郵便番号	所在地
北海道	札幌	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7丁目3－17
	帯広	〒080-0011	帯広市西1条南26丁目19－1
	室蘭	〒050-0074	室蘭市中島町1－9
	釧路	〒085-0051	釧路市光陽町8－13
	旭川	〒070-0031	旭川市一条通4丁目左10
	函館	〒040-0001	函館市五稜郭町31－17
青森県	青森	〒030-0121	青森市妙見3－3－4
	弘前	〒036-8101	弘前市豊田3－5－1
	八戸	〒031-0802	八戸市小中野2－8－16
秋田県	秋田	〒010-0941	秋田市川尻町大川反170－56
岩手県	岩手	〒020-0891	紫波郡矢巾町流通センター南3－1－1
	釜石	〒026-0041	釜石市上中島町4－6－43
宮城県	仙台	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3－1－27
山形県	山形	〒990-2332	山形市飯田2－7－43
	酒田	〒998-0859	酒田市大町19－5
福島県	福島	〒963-0111	郡山市安積町荒井方八丁33－1
	いわき	〒970-8033	いわき市自由ケ丘37－10
新潟県	新潟	〒950-0993	新潟市上所中1－7－21
栃木県	宇都宮	〒320-0833	宇都宮市不動前4－2－41
群馬県	群馬	〒371-0855	前橋市問屋町1－3－7
茨城県	茨城	〒310-0851	水戸市千波町1963
埼玉県	さいたま	〒330-0038	さいたま市宮原町2－107－2
東京都	江東	〒130-0011	東京都墨田区石原2－12－3
	城南	〒143-0025	東京都大田区南馬込1－5－15
	東京	〒114-0013	東京都北区東田端2－13－17
	多摩	〒191-0003	日野市日野台5－5－4
千葉県	幕張	〒261-8520	千葉市美浜区中瀬1－9－2
	千葉	〒270-2231	松戸市稔台295－1
	東千葉	〒289-2132	八日市場市高字東2779－4
	木更津	〒292-0801	木更津市請西2－5－22
神奈川県	横浜	〒235-0036	横浜市磯子区中原1－2－23
	湘南	〒254-0013	平塚市田村1381
	相模原	〒229-1122	相模原市横山2－2－12
山梨県	山梨	〒400-0049	甲府市富竹2－1－17
静岡県	静岡	〒422-8006	静岡市曲金6－8－44
	沼津	〒410-0062	沼津市宮前町11－4
	浜松	〒430-0803	浜松市植松町1476－2
長野県	松本	〒399-0002	松本市芳野8－14
	長野	〒388-8014	長野市篠ノ井塩崎東田沢6877－1
愛知県	名古屋	〒454-8721	名古屋市中川区山王3－5－5
	岡崎	〒444-0065	岡崎市柿田町1－21
	豊橋	〒440-0086	豊橋市下地町橋口17－1
岐阜県	岐阜	〒500-8358	岐阜市六条南3－12－9
三重県	三重	〒514-0102	津市栗真町屋町蒲池328
	四日市	〒510-0063	四日市市十七軒町6－2
富山県	富山	〒930-0906	富山市金泉寺71－1
石川県	金沢	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚町4－103
福井県	福井	〒918-8206	福井市北四ツ居町625
滋賀県	滋賀	〒520-2151	大津市栗林町11－35
京都府	京都	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	北近畿	〒620-0054	福知山市末広町6－13
大阪府	恵美須	〒556-0003	大阪市浪速区恵美須西1－2－9
	大阪	〒547-8510	大阪市平野区加美南3－7－19
	南大阪	〒597-0062	貝塚市沢1215
	北大阪	〒563-0043	池田市神田1－32－27
兵庫県	神戸	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1－6－18
	姫路	〒671-2222	姫路市青山5－7－7
奈良県	奈良	〒639-1103	大和郡山市美濃庄町492
和歌山県	和歌山	〒641-0031	和歌山市西小二里2－4－91
	南紀	〒646-0051	田辺市稲成町80－2
鳥取県	鳥取	〒680-0802	鳥取市青葉町2－204
岡山県	岡山	〒701-0301	都窪郡早島町矢尾828
島根県	松江	〒690-0017	松江市西津田3－1－10
広島県	広島	〒731-0113	広島市安佐南区西原2－13－4
	東広島	〒739-0142	東広島市八本松東4－3－30
	福山	〒720-0841	福山市津之郷町津之郷272－1
山口県	山口	〒754-0024	吉敷郡小郡町若草町4－12
	東山口	〒744-0011	下松市西豊井173－1
香川県	高松	〒760-0065	高松市朝日町6－2－8
徳島県	徳島	〒770-0813	徳島市中常三島町3－11－14
愛媛県	愛媛	〒791-8036	松山市高岡町178－1
高知県	高知	〒780-8123	高知市高須960－1
福岡県	福岡	〒816-0081	福岡市博多区井相田2－12－1
	南福岡	〒839-0812	久留米市山川安居野3－12－47
	北九州	〒803-0814	北九州市小倉北区大手町6－12
長崎県	長崎	〒856-0817	大村市古賀島町613－3
大分県	大分	〒870-0913	大分市松原町3－5－3
熊本県	熊本	〒862-0975	熊本市新屋敷3－15－17
	天草	〒863-0021	本渡市港町19－3
宮崎県	宮崎	〒880-0007	宮崎市原町4－12
鹿児島県	鹿児島	〒890-0064	鹿児島市鴨池新町12－1
	奄美	〒894-0035	名瀬市塩浜町8－1
沖縄県	那覇	〒900-0002	那覇市曙2－10－1
	先島	〒906-0013	平良市下里214－4

お客様相談センター

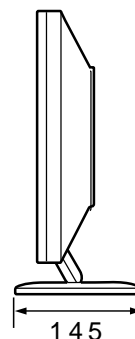
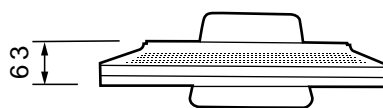
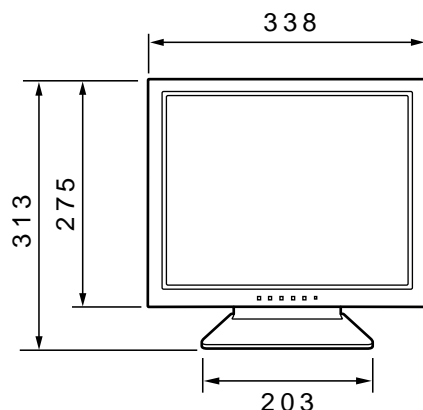
＜受付時間＞※月曜日～土曜日：午前9時～午後6時　※日曜日・祝日：午前10時～午後5時 (年末年始を除く)

東日本相談室　電話 **043-299-8021**　FAX 043-299-8280　〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬 1-9-2

西日本相談室　電話 **06-6794-8021**　FAX 06-6792-5993　〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町 3-1-72

仕　様

液晶表示素子
15 型(対角 38cm) TFT カラー液晶
最大解像度
XGA 1024 × 768
最大表示色
約 1619 万色(6 ビット +FRC)
画素ピッチ
水平 0.297mm ×垂直 0.297mm
最大輝度
$260cd/m^2$
コントラスト比
350：1
視野角
左右 160°　上下 150°（コントラスト比 ≧ 5）
表示画面サイズ
横 304.1mm ×縦 228.1mm
映像入力信号
アナログ RGB(0.7Vp-p)［75 Ω］
同期入力信号
水平 / 垂直セパレート(TTL：正 / 負)、シンク・オン・グリーン、コンポジットシンク(TTL：正 / 負)
拡大補正
デジタルスケーリング（VGA/SVGA などを XGA に補正して拡大表示）[拡大表示(全画面)]
※拡大表示のみ。1：1 での表示、アスペクト比(縦横比)固定での拡大表示はできません。
プラグ＆プレイ
VESA DDC1/DDC2B 対応
パワーマネージメント
VESA DPMS 準拠
コンピュータ信号入力端子
15 ピン ミニ D-sub（3 列）
画面角度調整（チルト）
上向きに約 0 〜約 25°、下向きに約 0 〜約 5°
電　源
AC100V　50/60Hz
使用温度条件
5 〜 35℃
消費電力
最大 33W(待機時 2W)
外形寸法
幅約 338mm ×奥行約 145mm ×高さ約 313mm
質　量
約 3.8kg（ディスプレイ部のみ約 3.2kg）
(アナログ信号ケーブル含まず)

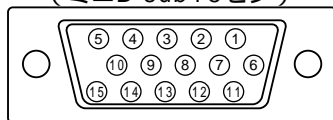
■外形寸法図 (単位 mm)

アナログ信号ケーブル長：約1.8m
電源コード：約1.8m

■対応信号タイミング

表示モード		水平周波数	垂直周波数	ドット周波数
VESA (IBM AT 互換機) (PC-9800 シリーズ)	640×480	31.5kHz	60Hz	25.175MHz
		37.9kHz	72Hz	31.5MHz
		37.5kHz	75Hz	31.5MHz
	800×600	35.1kHz	56Hz	36.0MHz
		37.9kHz	60Hz	40.0MHz
		48.1kHz	72Hz	50.0MHz
		46.9kHz	75Hz	49.5MHz
	1024×768	48.4kHz	60Hz	65.0MHz
		56.5kHz	70Hz	75.0MHz
		60.0kHz	75Hz	78.75MHz
PC-9800 シリーズ	640×400	24.8kHz	56.4Hz	21.053MHz
		31.5kHz	70Hz	25.175MHz
US TEXT	720×400	31.5kHz	70Hz	28.3MHz
Power Macintosh シリーズ	640×480	35.0kHz	66.7Hz	30.2MHz
	832×624	49.7kHz	74.6Hz	57.3MHz
	1024×768	60.2kHz	75Hz	80.0MHz

・推奨解像度は 1024 × 768 です。
・すべてノンインターレースのみの対応です。
・Power Macintosh の各周波数は参考値です。本機と Power Macintosh を接続するためには、市販の Macintosh 変換アダプターが必要になることがあります。
・本機で対応していない信号タイミングが入力されたときには、「入力信号が対応範囲外です」と表示されます。その場合、ご使用のコンピュータの取扱説明書にもとづき、本機で対応している信号タイミングに設定してください。
・本機に何も信号(同期信号)が入力されない場合、「入力信号がありません」と表示されます。
・表示モードが 640 × 400 のとき、画面調整メニューに「720 × 400」と表示される場合があります。

■コネクタのピン配列

(ミニD-sub15ピン)

番号	機　能	番号	機　能
1	赤映像信号入力	9	＋5V
2	緑映像信号入力	10	GND
3	青映像信号入力	11	N.C.
4	GND	12	DDCデータ
5	GND	13	水平同期信号用入力
6	赤映像信号用GND	14	垂直同期信号用入力
7	緑映像信号用GND	15	DDCクロック
8	青映像信号用GND		

■パワーマネージメント

本機は、VESA の DPMS(※ 1)、Energy Star(※ 2)に準拠しています。
本機のパワーマネージメント機能を動作するためには、ビデオカードやコンピュータも VESA の DPMS 規格に適合している必要があります。

※ 1 DPMS：Display Power Management Signaling

DPMSモード	画面	消費電力	水平同期	垂直同期
ON STATE	表示	33W	あり	あり
STANDBY	無表示	2W	なし	あり
SUSPEND			あり	なし
OFF STATE			なし	なし

※ 2 Energy Star：

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。
『国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各国の間で統一されています。』

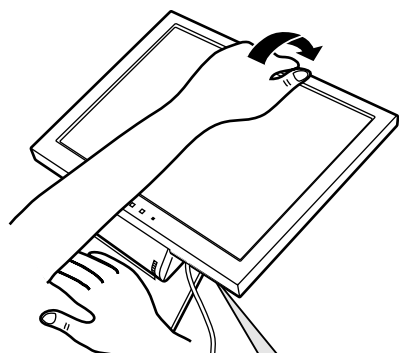
■ DDC(プラグ＆プレイ)

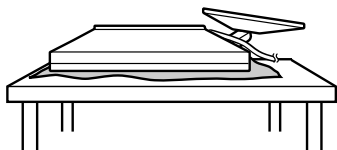
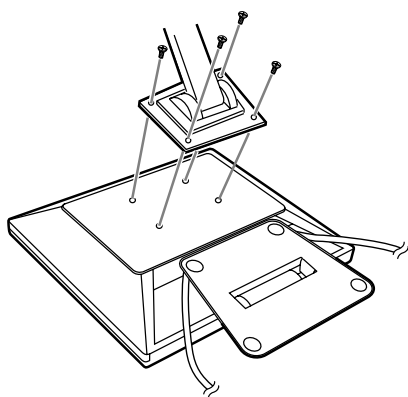
本機は、VESA の DDC(Display Data Channel)規格をサポートしています。
DDC とは、モニターとパソコンのプラグ＆プレイを行うための信号規格です。モニターとパソコンの間で解像度などに関する情報を受け渡しします。この機能は、パソコンが DDC に対応しており、プラグ＆プレイモニターを検出する設定になっている場合に使用できます。
DDC には、通信方式の違いによりいくつかの種類があります。本機は、DDC1 と DDC2B に対応しています。

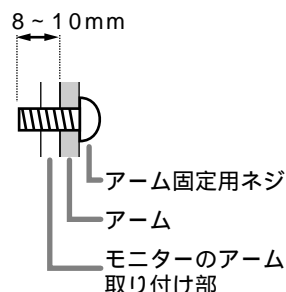
ご参考：VESA 規格準拠アームの取り付け方

本機は、VESA 規格に準拠したアームを取り付けることができます。アームは、お客様でご用意ください。
※本機に取り付けるアームは、以下の点に注意してお選びください。

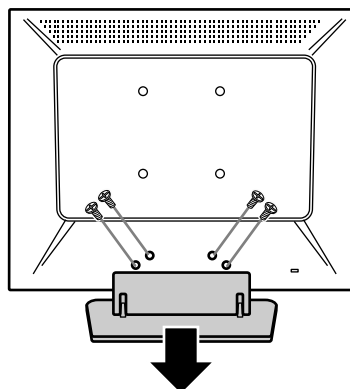
・VESA 規格に対応し、モニターに取り付ける部分のネジ穴間隔が 75 × 75mm のもの。
・モニターを取り付けても外れたり、倒れたりしないもの。

1. モニターおよびコンピュータの電源を切る。
2. 電源プラグをコンセントから抜く。
3. コンピュータからアナログ信号ケーブルを外す。
4. スタンド部分をしっかり押さえながら、ディスプレイ部を静かに後方に倒す。

※ケーブルを無理に曲げたり、ケーブルに力が加わらないようにしてください。断線などの故障の原因になります。

5. モニターを傷つけないように柔らかい布などを水平なところに敷き、表示部を下向きにして置く。

6. アームを取り付ける。

アームの固定用ネジはアームの取り付け面からの長さが8～10mmのM4をご使用ください。
それ以外のネジをご使用になると、脱落や、モニターの内部を破損する恐れがあります。

8～10mm
アーム固定用ネジ
アーム
モニターのアーム取り付け部

7. 電源コードとアナログ信号ケーブルを接続する。

***?* Memo**

スタンドを取り外すこともできます。
① モニターの電源を切り、モニターからアナログ信号ケーブルと電源コードを取り外す。
② モニターを傷つけないように柔らかい布などを水平なところに敷き、表示部を下向きにして置く。
③ ネジを４本外し、スタンドを取り外す。

※ スタンドは本機専用です。取り外したスタンドは他の機器で使用しないでください。
※ 取り外したビスは、スタンドとともに保管し、再度スタンドを取り付けるときは、必ず元のビスを使用してください。別のビスを使用すると、故障などの原因になります。

④ 6. の手順でアームを取り付け、アナログ信号ケーブルと電源コードを接続する。

●製品についてのお問い合わせは‥

お客様相談センター	東日本相談室	TEL **043-299-8021**	FAX **043-299-8280**
	西日本相談室	TEL **06-6794-8021**	FAX **06-6792-5993**

《受付時間》　月曜～土曜：午前9時～午後6時　日曜・祝日：午前10時～午後5時　(年末年始を除く)

●修理のご相談は‥

20ページ記載の『**お客様ご相談窓口のご案内**』をご参照ください。

20ページ記載の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。

●シャープホームページ

http://www.sharp.co.jp/lcdmonitor/

(2002年11月現在)

シャープ株式会社

本　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
情報システム事業本部　〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

Printed in Taiwan
P/N：0NIT15G3-0002 ②
1925-1300-431**1**